

## あたつく組合 1周年報告会 開催報告書

開催日時	2017年2月9日(木) 13:00~17:30
開催場所	社会福祉法人ぷろぼの Fellow Ship Center 5階
参加者数	79名(来賓 27名 / 会員 32名 / 一般 20名)

司会者挨拶	一般社団法人 無限 石田慶子 氏	
開会挨拶 1年間の活動報告	あたつく組合 代表理事 井上京子 1年間の取り組みと今後の展望	
来賓挨拶	奈良県健康福祉部 部長 土井敏多 氏 ・奈良県の障害者雇用は全国一位 ・あたつく組合に仕事を発注するなどして 障がい者雇用を増やして欲しい	
来賓紹介	司会 石田氏より紹介	
基調講演	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 就労支援係長 服部 剛 氏 演題「障害者の就労支援制度と実施状況について」 ①総合支援法の就労支援について ・30年度の制度改正について(定着支援制度など) ②優先調達制度の実施状況について ・全国及び奈良県の実施状況と実績 ・物品、役務などの業務の内容と実績 ・今後の課題 (役所内の他部署との調整方法など) ③障害者雇用促進について ・障害者雇用率の実績、合理的配慮の事例	

## 事業報告会

コーディネーター

社会福祉法人ぷろぼの理事長/あたつく組合理事

山内民興 氏



### プロジェクト1

「奈良の文化遺産の継承と活用 春日大社境内の杉の商品化」

報告者 社会福祉法人たんぼぼの家 総括施設長 成田修 氏

- ・春日大社境内の杉を譲り受けることになった経緯
- ・MAKUAKE でクラウドファンディングの内容
- ・組合員の協力、協働によりプロジェクトが実現したことの説明
- ・MAKUAKE 返礼品について
- ・本プロジェクトの目的について



### プロジェクト2

「優先調達受注状況と今後」

報告者 社会福祉法人ぷろぼの ITセンター長 川崎裕平 氏

- ・奈良県、奈良市の優先調達制度の施行状況について
- ・行政の受注に際して福祉施設が抱える問題点について
- ・行政・福祉施設の課題を解決するために「あたつく組合」が組織された
- ・奈良県から正式に「共同受注窓口」事業者認定
- ・発注側からの相談や要望に応じた提案についての説明
- ・今後の組合の取組について
- ・優先調達制度の受注業務の増加予想の根拠について





### プロジェクト3

「なら IT 企業連携化計画」

報告者 (株)エム・イー・ディー 取締役 松本直樹 氏

- ・奈良には IT 系の企業が非常に少ないこと、行政等の HP は奈良県以外の企業が受注している現状と課題と展望について
- ・弊社とぷろぼの大和八木の共同チームで障害者がエンジニアと共に

<p>パネル ディスカッション</p>	<p>システム開発をしている取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績および障害者が十分な戦力になっていることの説明</li> <li>・案件・人材の県外へ流出している現状の対策</li> <li>・IT化の手順と取り組みの現状</li> <li>・IT小規模企業の成長戦略</li> </ul>  <p>「あたつく組合の挑戦」～障がい者の仕事をつくり、地域を元気に～ コーディネーター (株)ソルナ・クリエイト 代表取締役/あたつく組合員 大川健 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマの趣旨説明</li> <li>・奈良県内の自治体職員数削減に比して、自治体の業務は減らず「アウトソーシング」や「ITの活用」が進められてきた結果、多くの仕事が東京の業者に流れるようになった</li> <li>・地元で、公的機関の仕事を受けてコーディネートできる組織の必要性</li> <li>・期待するあたつく組合の役割と、人手不足で困っている公的機関や中小企業から「あたらしい仕事のアウトソーシング」を受ける意義</li> <li>・優先調達制度の活用提案</li> </ul> <p>パネラー発表 (障がい者の仕事をつくることについての取り組み、工夫)</p>  <p>① 奈良県健康福祉部障害福祉課 課長 芝池多津子 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県は、奈良労働局と協定締結。昨年の実績で障害者雇用率日本一となり、さらに継続、向上させるようにしたい</li> <li>・平成 27 年度には障害者雇用ビジネスモデル推進補助金を設け「あたつく組合」の設立を支援</li> <li>・福祉的就労の支援として、「はたらく障害者応援プレミアム商品券」を発行および、優先調達の共同受注窓口も 2 箇所指定</li> <li>・県庁からの優先調達は年々増加、県下の自治体へもっと広げていく必要がある</li> </ul> <p>② 社会福祉法人ぶろぼの 事業部長 米田英雄 氏</p>
-------------------------	--

<p>報告会お礼・挨拶</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぷろぼの事業の概要説明と新しい取り組みについて</li> <li>・生物の色や形をリアルに再現したブローチを販売、収益の一部を環境活動団体に寄付している</li> </ul> <p>③ 社会福祉法人わたぼうしの会 Good Jpb! Center 香芝 企画製造ディレクター 藤井克英 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3Dプリンターなど最新のデジタル技術を使った製品製作の説明</li> <li>・Good Job!センター香芝の説明</li> <li>・デジタル工作技術と障害のある人の手仕事によるハイブリッドな物づくりを行うことで広がる可能性について</li> </ul> <p>④ 生駒市福祉健康部障がい福祉課 課長 鎌田明年 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定</li> </ul> <p>自立支援協議会で『第4期生駒市障がい者福祉計画』を策定、就労支援事業所の設置や就労体験、優先調達等を通じ個人の意欲と能力と適性に応じた就労を確保できるよう就労支援に積極的に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.「働く」を体験する…障がい者職場体験受入事業として平成28年度は市役所以外にも拡大</li> <li>2.「働く」場の提供…市所有施設における就労支援を実施</li> <li>3.「働く」を応援する…授産品の販路拡大への支援を実施、平成28年度からふるさと納税の返礼品に採用</li> <li>4.「働く」を支える…障害者優先調達推進法に基づく取り組みについて</li> </ol> <p>⑤ タビオ(株)メンズ事業部 川口秀夫 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県広陵町のタビオ奈良で多数の障害者が働いている</li> <li>・「売上げの一部が障がい者のアート活動に用いられる企画」の説明</li> <li>・当社の通常価格のプリント靴下より、アートの力で付加価値商品となり、通常価格より高い定価設定となっているが、障がいを持った方々のアートが一つのブランドとして位置づけ認知されだしている。</li> <li>・他のアパレル関連企業とのコラボレーション企画の広がりについて</li> </ul> <p>あたくし組合副代表理事 成田修 氏</p>
-----------------	--